

---

# 大切なこと

雨野知晴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大切なこと

### 【Nコード】

N0244F

### 【作者名】

雨野知晴

### 【あらすじ】

あなたはこどものころに何がしたかったですか。

あなたはこどものころに何がしたかったですか。

昔、父親と母親に聞かれたこと

「将来の夢ってなにかな？」

「僕は早く大人になりたいな。」

だってなんでも一人で出来るもん。」

そうしたら二人は少しさみしそうな顔をして

父親がこう言ってきた

「大人になるって

とても大変だぞ。」

「いいんだ。」

お父さんやお母さんみたいに

立派になってみたいんだ。」

そうしたら二人は嬉しそうな顔をした。

そして、ふと僕は思ったことを口に出した。

「じゃあ、お父さんとお母さんの今の夢ってなに。」

そしたら二人は笑顔で一緒に答えた。

「それはお前が大きくなって」

「一人前に成長してね。」

「「あなた（おまえ）がいつも元気で笑っていてくれることだ（なのよ）。」」

僕はそんな二人の思いが嬉しくて二人に飛びついた。

「お父さん、お母さん大好き。」

「私たちも大好きですよ。」

.....

.....

.....

.....

懐かしい夢を見た。

私が子どもだったころの懐かしい記憶

あの頃から二十年の歳月がたった。

あの頃の二人の思いが私に伝えたかった思いが

今でははっきりと理解できる。

「おぎゃあ、おぎゃあ……」

分娩室の扉が開いた。

「先生、

妻は、私の子どもはどうなりましたか。」

「大丈夫ですよ。」

母子ともに無事ですよ。」

そう私は今日、父親になったのだ。

これから私は私の子どもの頃

父親と母親が私にくれたように

子どもに愛情を注いでいきたいのだ。

この新しい命に・・・

(後書き)

はじめまして

初投稿の雨野知晴です。

いろいろ至らないところがあると思いますが

指摘していただけると嬉しいです。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0244f/>

---

大切なこと

2011年1月25日03時27分発行